

元気いっぱい！どろんこ体験学習



6月2日(水)に広幡小学校の5、6年生28人が大跡地域環境保全組合、西美濃農業協同組合職員などの協力のもと田植えを体験しました。児童たちは元気いっぱい、楽しそうに泥にまみれながら約300㎡の田んぼに稲の苗を植えました。10月初旬の収穫に向けておいしいお米ができるように願いを込めて作業し、「収穫したお米をおにぎりやカレーライスにして食べることを今から楽しみにしています」と笑顔で話してくれました。

自分の命は自分で守る！



5月18日(火)に広幡小学校グラウンドにて全校児童を対象とした交通安全教室が開催されました。養老警察署、養老地区交通安全協会、保護者による校外生活委員の協力のもと交通ルールを確認しました。竹中校長先生は『命を守る』ことについて学び、自分の命は自分で守りましょう」と話し、1、2年生は歩行者として、3～6年生は自転車に乗る時の安全確認の重要性について学習しました。交通安全協会の西脇協会長は「横断歩道を渡る時であっても、車が絶対に止まってくれるとは限りません。必ず車が来ていないこと、停止していることを確認して渡りましょう」と呼びかけました。

歩行者シミュレータで危険予想



4月に町内で交通死亡事故が発生したことを受け、5月13日(木)に岐阜県警本部の「ブルーシグナル」協力のもと、養老警察署、養老町、養老地区交通安全協会が町役場ロビーにて、歩行者シミュレータを用いた歩行者の実践型安全教育を開催しました。

役場を訪れた高齢者が、車が激しく往来する道を安全に横断するために、危険を予想しながら試みました。歩行者自身が「自分の身を守る」意識を持つことの大切さを再確認する催しとなりました。